

株主の皆さまへ

第79期 株主通信

2016年夏号

2015年4月1日~2016年3月31日

株主の皆さまには、平素より
格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに、第79期 株主通信
2016年夏号を
お届けいたします。



2015年度の当社グループの業績は、売上高8,336億円(前期比1.6%減)、営業利益623億円(同28.1%減)と、残念ながら7期ぶりの減収減益となりました。景気変動の影響を受けやすい本社直轄事業が低調に推移したことが主な要因です。一方で制御機器事業においてロボット技術とモーションコントロール技術を持つ2社の企業買収を実施し、成長のための打ち手を着実に実行しました。年間配当については、配当性向30%という方針に則り1株あたり68円とし、期末配当は34円といたしました。

2016年度の業績目標は売上高8,200億円、営業利益630億円です。全社をあげて徹底的に収益構造を作り込みながら、将来に向けた投資も積極的に実行します。

具体的には、制御機器事業においてロボットとマシン制御を融合させた新しいオートメーションを創造します。企業買収で得たロボット技術と当社の持つ超高速高精度な制御技術の融合に向けた取り組みの第一弾として、4月1日に49機種の産業用ロボットを全世界で同時発売しました。このロボットを使って、他社には真似できないオムロン独自のモノづくりの革新を実現し、新たな市場を創り出します。

これからも事業部門・本社部門が一丸となり、収益を伴う成長を実現させます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月
代表取締役社長

山田 義仁

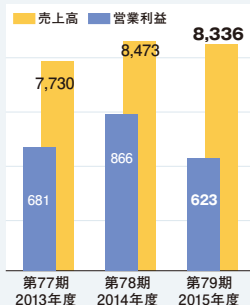
OMRON オムロン株式会社

〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入 URL: <http://www.omron.co.jp/>

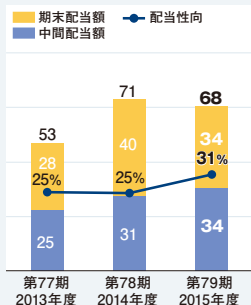
第79期(2015年度) 決算ハイライト(連結)

	実績	前期比
売上高	8,336 億円	△ 1.6 %
営業利益	623 億円	△ 28.1 %
売上高営業利益率	7.5 %	△ 2.7 P
税引前当期純利益	657 億円	△ 24.8 %
当社株主に帰属する 当期純利益	473 億円	△ 23.9 %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	218.95 円	△ 64.94 円

売上高および営業利益 (億円)



配当および配当性向 (円)



◎第79期期末配当金につきましては、1株につき34円といたしました。

第80期(2016年度) 通期の見通し(連結)

		前期比
売上高	8,200 億円	△ 1.6 %
営業利益	630 億円	+ 1.1 %
売上高営業利益率	7.7 %	+ 0.2 P
税引前当期純利益	645 億円	△ 1.8 %
当社株主に帰属する 当期純利益	475 億円	+ 0.4 %
基本的1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益	222.16 円	+ 3.21 円

(注) 上記は、2016年4月27日決算発表時点で入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しです。

部門別情報

制御機器事業



世界の主要な製造業の幅広いお客様に対し、センシング技術とコントロール技術を活用したオートメーション機器およびサービスで、ものづくりを支援しております。

売上高
構成比

40%

電子部品事業



主に業務民生用機器、車載機器、環境/エネルギー機器、産業機器に内蔵する制御コンポーネントやモバイル機器に内蔵するコンポーネントを提供しております。

売上高
構成比

12%

車載事業



世界の自動車メーカー、電装品メーカーに対し、車載用電装品に特化した設計、生産、販売活動を行っております。

売上高
構成比

17%

社会システム事業



安心・安全で快適な社会の実現に向け、センシング&コントロール技術およびソフトウェア、メンテナンスのトータルサービスでソリューションを構築し、お客様とともにより良い社会づくりに貢献しております。

売上高
構成比

9%

ヘルスケア事業



家庭で測る身近なものから医療機器まで、生活習慣病等の予防・改善、疾病管理に役立つ数多くの商品・サービスをグローバルに提供し、人々の健康とすこやかな生活への貢献をしております。

売上高
構成比

13%

本社直轄事業(その他事業)、他

環境事業・電子機器事業・マイクロデバイス事業・バックライト事業、他



事業の育成・強化や新規事業の探索・育成を目的とした事業を、本社直轄で担当しております。

売上高
構成比

9%

ロボット事業の推進によるソーシャルニーズの創造

CYBERDYNE株式会社（以下、サイバーダイン）との協業によりすすめているロボット事業をご紹介します。これにより、今後進んでいく高齢化社会のさまざまな課題をロボット技術を使って解決し、豊かな社会をつくれます。

サイバーダインとの協業の背景

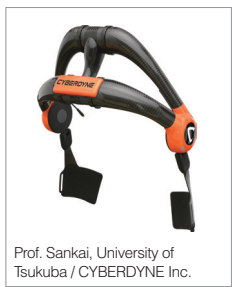
2014年12月、オムロンはサイバーダインとロボット事業に関する基本合意書を締結しました。この事業提携は、『科学技術は人や社会の役に立ってこそ意味がある』という理念を掲げるサイバーダインと、『われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう』という社憲を持つオムロンが互いの理念に共感し実現しました。

提携の趣旨は、両社の優れたところを持ち寄ってより良いモノを作るといことです。現在オムロンは、サイバーダインが開発製造をしたロボットスーツHAL^{ハル}®作業支援用／介護支援用（腰タイプ）（以下、HAL）の販売促進と保守サービスを行い普及に努めています。

HALの普及で社会的課題の解決へ

HALは腰の負担を楽にする装着型のロボットです。人が体を動かすときに脳から筋肉へ送られる信号、“生体電位信号”を読みとってHALはその信号の通りに動きます。

つまり脳が考えた通りに、HALは装着した人の動きをサポートします。たとえば20kgの木材を運ぶ場合であっても疲れにくくなるため、重いものを扱う作業現場での労働環境の改善や労働災害防止への活用が期待され



ています。また、介護現場での車いすからベッドへの移乗や、体位変換などの介助動作の際に腰部にかかる負荷を低減し、楽に行うことができるようになります。

HALの普及によって腰痛を防ぎ、力の弱い女性や高齢者の働く可能性を広げ、誰もがイキイキと働ける職場づくりを実現します。このように、オムロンとサイバーダインは、作業現場、介護現場での働き手不足という社会的課題の解決に取り組んでいます。



腰に装着し腰部にかかる負荷を低減する

人と機械の融和に向けて

オムロンの考える人と機械の未来の関係性は、人と機械が融和し、機械が人に合わせたり、人の技術を再現したりする世界です。熟練工の動きや力の入れ具合を技能の情報として蓄積した上で、それを他の作業員やロボットに再現させることも夢ではありません。今後、オムロンの制御技術とサイバーダインのロボット技術を掛け合わせ、後継者問題や技能伝承の問題を解決する新技術の開発にも取り組んでいきます。

これからもオムロンは、さまざまな社会的課題を解決することでさらなる成長を目指します。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主
確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

(電話照会先) **0120-232-711** オペレーター対応
(9:00～17:00 土・日・祝日を除く)

上場証券取引所 東証第一部

証券コード 6645

株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

▼
口座を開設されている証券会社へ
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

▼
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部まで
お問い合わせください。
電話照会先は上記をご参照ください。

100株以上ご所有の株主の皆さまへ 株主優待2016申込期限のお知らせ

株主優待のお申込期限は7月22日(金)です。
まだお申込みをされていない株主さまは、お早めに
申込書をご投函ください。

株主優待に関するお問い合わせ先:

0120-868-343 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)
三菱UFJ信託銀行 株主さま優待サポートセンター(オムロン優待窓口)